

## 令和4年度（第1回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年4月26日（火） 14時00分～15時20分
  - 2 開催場所 加古川市民会館 大会議室
  - 3 出席委員 長谷中委員、後藤昌委員、坂田委員、田上委員、後藤強委員、高瀬委員、川上委員、菅原委員、徳田委員、山尾委員、善積委員（11名）
  - 4 欠席委員 田中委員、和田委員
  - 5 出席職員 小南教育長、桐山教育指導部長、杉本教育指導部次長、福島教育指導部参事、松尾教育指導部参事、今津教育指導部参事、梅野社会教育課長、河村文化財調査研究センター所長、長谷川少年自然の家所長、田村中央図書館長、高橋加古川公民館長、藤原加古川西公民館長、沼田東加古川公民館事業・庶務担当、鳥居両荘公民館長、有原志方公民館長、小原加古川北公民館長、松尾野口公民館長、福本氷丘公民館長、中田平岡公民館長、大西陵南公民館長、前田別府公民館長、木村尾上公民館長、真鍋学校教育課長、衣笠教育研究所長、社会教育課（畑副課長、川向地域家庭教育係長、今井主事）
  - 6 傍聴者 0名
  - 7 議事要旨
- 開会 14時00分  
委員長あいさつ、教育長あいさつ

### （協議事項）

令和4年度社会教育委員活動計画（案）について

（社会教育課より説明）

委員

今年度、第2回及び第3回の協議テーマとして、公民館に関することが挙がっている。詳しくは次回に様々な課題が出されると思うが、過去と比べると困難な状況に入っていると思う。最近では、公民館は貸館という位置付けに近づき、また、登録団体の存続も難しくなってきた。このような状況のなか公民館をいかに活性化いただくか、1回や2回の会議で答えが出ればいいが解決が難しい課題である。何とかいい答えが出るように、いろんな知恵を拝借しながら議論していきたいと考える。

### （報告事項）

（1）令和4年度各課事業の推進について

（少年自然の家、中央図書館、青少年育成課、加古川公民館、文化財調査研究センターより説明）

（2）加古川市立公民館の使用許可基準の緩和について

（社会教育課より説明）

委員

実際にどのような民間事業者の事業をイメージしているのか。

社会教育課地域家庭教育係長

携帯キャリアが社会貢献事業として行う無料のスマートフォン講座等を想定している。

民間事業者に参画いただくことで学習機会の提供の幅が広がっていくのではないかと考

えている。

(その他)

委員

昨年度、少年自然の家について協議を行ったが、今年度の予算や事業計画にどのように反映されているのか。

少年自然の家所長

令和4年度予算には反映できていないが、来年度以降の予算に反映していきたいと考えている。大きな予算を必要としない取組については今年度から実施を予定している。

委員

市民が使わなくなった絵本などの幼児向けの本を活用できる方法はないか。

中央図書館長

市民から寄贈いただいた本については図書館で活用を行っている。具体的内容については、次回会議時に報告させていただく。

委員

小学校では団体貸し出しで、クラスに配置する本を借りているが、リクエストすることがない。子どもたちの意見も踏まえてリクエストが伝わるような仕組みができればありがたい。

委員

少年自然の家の食堂の食事の状況についてお伺いしたい。

少年自然の家所長

宿泊棟の食堂では、以前まで業者が入り調理を行っていたが、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により利用者が激減し、採算が取れないことから業者が撤退した。その後、業者を探しているが見つからない状況である。そのような状況であるため、現在は仕出し弁当で対応している。

委員

食事は、施設の魅力のひとつであるため、できる範囲で改善をお願いしたい。

委員

昨年度、少年自然の家について協議し、利用者の減少が挙げられていたため、学校関連の会議について、少年自然の家や公民館を開催場所とするなどしている。調整もスムーズにさせていただき感謝している。学校はスペースや駐車場など課題があるため、活用していきたい。

委員

公民館において、高齢者大学の入学者やOB会への参加者の減少、登録団体が減少しており課題である。人と出会い会話を行うことで健康は保たれると考えるので、高齢者にそのような機会を提供することは必要である。原因はどのように考えているのか。

加古川公民館長

公民館の取組については、今年度、委員の皆様にご意見をいただきながら公民館としても検討をしていきたいと考える。

高齢者大学の入学者の減少については、50年ほど前から高齢者大学の取組を始めているが、当時と現在を比べると定年年齢の引き上げや高齢者のニーズの変化が要因であると考える。また、登録団体については、構成員の固定化や高齢化等が考えられる。グループの

新陳代謝を促進する要因がないため、団体数も減少してきており、市広報でPRしていくなどの取組が必要であると考えている。

高齢者大学においては、幅広い内容で開催しているが、グラウンドゴルフや歴史、ウォーキングなど個々の関心のあるクラブ活動的な内容についてニーズが高まっていると感じている。

各館入学者数が減少しているなか、東加古川公民館は定員を上回る応募があったため、要因について検証していきたい。現在のニーズにあった形や内容に変えるなど早急に検討する必要があると感じている。

委員

学校の図書館は専任の司書がおらず、整理が大変と聞いている。そちらについても配慮いただきたい。

委員

昨年度、少年自然の家について協議を行ったが、事業の広報活動は具体的にどのようにされる予定なのか。

少年自然の家所長

広報かこがわや市ホームページなどで周知を行っている。より有効な方法も検討していきたいと考えている。

委員

とても良い取組が行われているのに、少年自然の家の施設の良さを知っている人が少ないと思う。子育て世代などに届くよう、カラー版のチラシを配布したり、公民館に大きなポスターを掲示したりするなど、発信方法を工夫いただきたい。

○ 閉会 15時20分

副委員長あいさつ

以上